

皮膚科

(1)初期研修で到達可能な臨床レベル

皮膚科における基本的診察法、基本的検査法、外来診療、救急診療、入院管理および手術助手を行う。初期研修で経験すべき手技のうち、皮膚切開、皮膚縫合、皮膚生検に関して、より丁寧な専門的指導を受けることができる。2年間を通じて当科で3ヶ月以上皮膚科研修を選択された場合には、良性皮膚腫瘍などの頻度の高い基本的手術を指導医のもとに執刀できる。年間487例の皮膚科手術件数は、京都府内で大学病院を除くと最も多い。

(2)後期専攻医

当院は日本皮膚科学会認定専門医一般研修施設である。専門医主研修施設である京都府立医大皮膚科と連携し、専門医の教育研修を行っている。